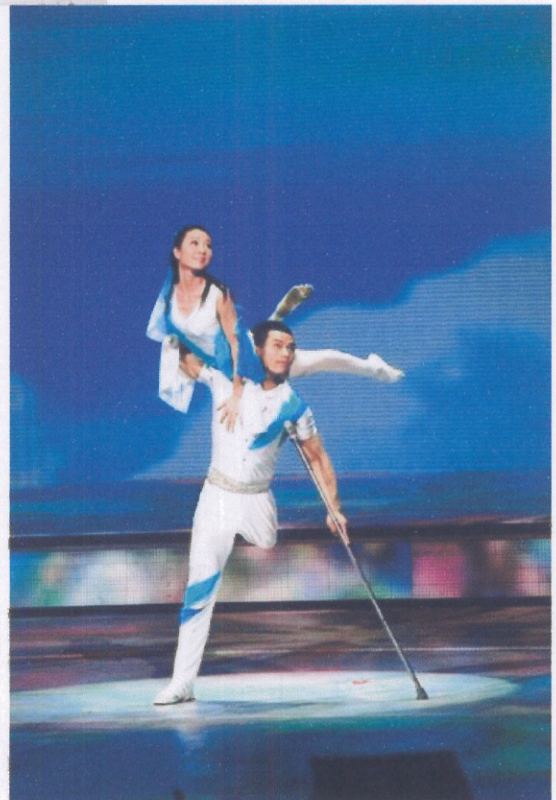


あまゆへず

ギターとピアノで弾き語る兵庫県出身の元保育士デュオ 2009年に全国デビュー。現在、企業CM、兵庫県交通安全の歌、県警ポスターモデル、新聞コラム連載の他、FM大阪や、FM尼崎ではラジオのレギュラー番組を持ち、テレビレポーターとしても活躍。ミュージシャンだけでなく、タレントとしても幅広く活動しています。

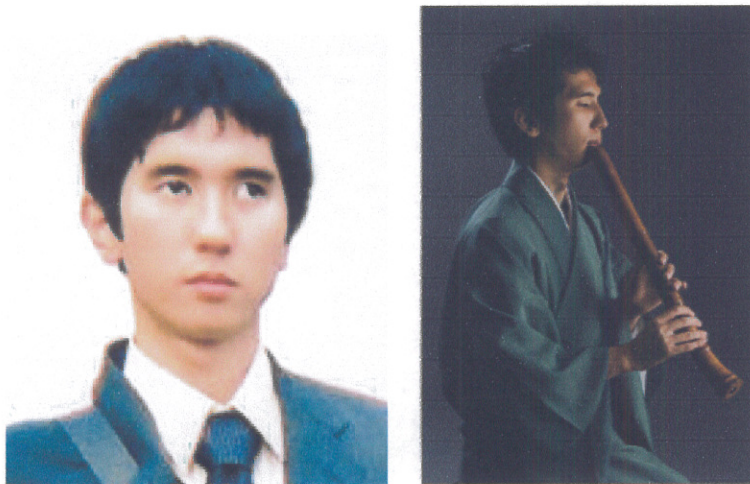


障害者舞踊家2人 北京市在住
肢体障害 世界で活躍舞踊家
舞踊（手を繋ぐ）

星月夜、片腕を失った彼女は、1人で運命に戦っている。彼女は悲しいと絶望の中で泣く……この時、片足を切断された彼は、彼女の手を強く繋ぎあって、一緒に希望がある未来へ……それは、人を感動させる美しい舞踊——《手を繋ぐ》です。

安田知博 (やすだ ともひろ)

視覚障害 (全盲) 尺八奏者、フリーアナウンサー



- 1980年 熊本県山鹿市に生まれる。先天性の視覚障害。
盲学校在学中10歳で尺八を始める
- 1996年 都山流尺八本曲コンクール8位・特別賞受賞
- 1998年 第70回記念選抜高校野球大会の式典アナウンス
- 1999年 立命館大学に進学、後に大学院へ。
- 1999年 全国身体障害者スポーツ大会の式典音楽の編曲・演奏を担当
- 2001年 石川利光師に師事し、古典本曲・琴古流を学ぶ。
- 2002年 都山流尺八師範となる (蜂山と号する)。
- 2002年～和楽器によるユニット「おとぎ」に参加。
ライブハウスや学校などで演奏。
- 2002年4月～2004年3月
NHK ラジオ第2の福祉番組「共に生きる」に、司会者として
レギュラー出演
- 2003年 全国邦楽コンクールで、優秀賞受賞 (尺八部門1位)
- 2003年 尺八新人王決定戦3位
- 2004年～NPO 日本国際童謡館主催のイベントに出演
- 2005年～熊本市現代美術館の「フライデー・ジャム・コンサート」に出演。
- 2005年 熊本全国邦楽コンクールで優秀賞を受賞。
- 2005年 NHK 熊本のテレビ番組「金曜ライブ」に出演。
- 2007年 山鹿市八千代座で「安田知博里帰りコンサート」を開催。
- <所属> 邦楽ユニット「おとぎ」、石の会、都山流尺八楽会
- <活動> 現在は、尺八の演奏、高校放送部の指導、朗読ボランティアの養成、
専門学校講師等として、関西を中心に活動。
和楽器ユニット「おとぎ」の一員としてオリジナル曲にも挑戦。

楊雪元 (よう せつげん)

視覚障害 (全盲) 中国笛演奏者 テノール歌手



中国天津市出身。9歳から中国笛を練習し始める。

1988年 天津音楽学印教授陸金山先生に師事し笛の奏法を学ぶ。

1991年 長春大学特殊教育学院音楽科に入学し、中国笛を専攻。

1992年 タイの皇女リントン氏に演奏。

1993年 全国障害者音楽コンクールで最優秀賞受賞。

1994年 天津市障害者芸術団に入り、歌と中国笛を担当。

1995年 天津音楽学院で声楽のレッスンを受ける

1997年 全国障害者音楽コンクール声楽部門で3位受賞

1999年 来日

2000年 第50回ヘレンケラー音楽コンクール笛の部で第1位入賞。

2004年 京都市立芸術大学大学院講師北村敏則先生に出会い、
声楽を学ぶ。バリトンからテノールに転向

第7回長江杯国際音楽コンクール声楽部門で第3位受賞

第5回大阪国際音楽コンクール声楽部門でエスポワール賞受賞

2005年 京都市立芸術大学大学院声楽科音楽研究留学生コースに入学。

日本盲人音楽家リストに登録される

2008年 京都市立芸術大学大学院音楽研究科修士課程修了 (声楽専攻)

第2回中国音楽国際コンクール器楽の部最優秀賞、声楽部門第1位受賞

第9回大阪国際音楽コンクール民族楽器の部第1位

大阪市長賞・審査委員長賞受賞

第18回日本クラシック音楽コンクール全国大会一般の部声楽部門第4位
(グランプリ、第1位、第3位該当者なし)

中国民族管弦楽学会竹笛委員会名誉理事。

CD・驚きの中国笛テクニック「三五七」発売。

池田和美 (いけだ かずみ)
身体障害 ピアニスト

尼崎市在住



大阪芸術大学 芸術学部 演奏(ピアノ)学科 中退。

24歳の時に小脳性失調症 体幹機能障がいとなりましたが、
今日もこうして目が覚め、一日を過ごせる事に喜びと感謝を感じ

「こんな私でも何か出来ることは・・・」とリハビリでもある音楽と向き合い、
施設やデイサービスなどへ音楽ボランティア活動を始めました。

国内ピアノコンクール入選。カナダ・バンクーバーで開かれた「国際障害者ピアノフェスティバル」に出場し、6位の実績を取った。

現在は、大阪芸術大学 芸術学部 通信教育部 音楽学科 2年次編入
北野完一氏・龍野弘毅氏に師事。NPO 関西障害者国際交流協会 理事

木村 学 (きむら まなぶ)
知的障害 ハオ作業所利用者

尼崎市在住



チェックドール

鳥生亜季 (とりう あき)

出身地: 大阪府枚方市

内部障害

Si-to

出身地: 兵庫県神戸市

内部障害



2010年2月「愛」と「勇気」をテーマに男女ボーカルユニット CHECK DoLL 結成。生まれつきの心臓病を抱え、現在も身体障害者として認められている 男性ボーカル「Si-to」と幼い頃から重度のアトピーを持つ女性ボーカル「鳥生亜希」の2人組ユニット。大阪を中心にライブ活動や音楽を通じてのボランティア活動を積極的に行っている。自主制作によるCDを3枚発売し、ソロ時代を含めて販売数が累計3000枚を超える。

杉若恭市 大阪市在住

(内部障害 心臓)

1992年来日、以前、中国無錫市歌舞団のプロ歌手でした。上海声楽研究所で発声法を学び、長年研究を続けました。

今年は71歳になりました、人生最大の趣味は歌を歌うことです。



前川 裕美 (まえかわ ゆみ) 宝塚市とアメリカ在住 (予定)
視覚障害 (弱視) 作曲家・演奏家



- 3歳から音楽教室に通い、6歳で作曲を始める。
- 幼少時より弱視であったが、小学校5年生のときに進行性の難病網膜色素変性症と診断される。徐々に視力、急激に視野を失っていくなか、中学1年生からクラシックの作曲理論を学び始め、高校の音楽科 (作曲専攻) に進学後は様々なジャンルの音楽に触れ、特に映画音楽とミュージカルに興味を持ち舞台にも出演する。
- 高校卒業後、単身アメリカに渡りテキサス州にて10ヶ月間、語学を主に学ぶ。
- その後、ミシガン州にある Leader Dogs for the Blind (盲導犬訓練施設) にて盲導犬グレースと出会い1ヶ月間の共同訓練を受ける。
- 1998年、マサチューセッツ州ボストンにあるバークリー音楽大学に入学。
- 作曲・編曲・声楽・ピアノを学び6年間の留学生生活を終える。
- 2004年より全国各地でトーク&コンサート活動を続け、人々に夢と希望をお届けしたいと奮闘中。
- 2009年2月株式会社 Grace Note を設立。代表取締役役に就任。
- <テレビ・ラジオ・コンテスト出演履歴>
- 2005年「第2回ゴールドコンサート」にて総合グランプリを受賞。
- 2006年「第3回ゴールドコンサート」ゲスト演奏では雅楽師の東儀秀樹氏と共演。
- 2006年「第6回全国障害者スポーツ大会のじぎく兵庫大会」開会式オリジナル曲を披露。
- 2007年「24時間テレビ愛は地球を救う『人生が変わる瞬間』」 「障害を乗り越えて」に出演。
- 2009年NHKラジオ第二放送 聞いて 聞かせて ～ブラインド・ロービジョン・ネット～ 働く現場～作曲家・演奏家の仕事～
- 2011年放送 テレビ東京「生きるを伝える」に出演。
- 可能性を信じて ～音楽家 前川裕美～
- 2011年2月アメリカ・カリフォルニア州 幼稚園において講演&コンサートをしました。

聴覚法習得後に出演、その後チェコにてオーケストラと演奏など、活躍の場はさらに広がっている。